

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会だより

第6号

2004年4月1日

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会発行

<http://homepage3.nifty.com/biotope/index.html>

発行責任者： 篠崎 将

Tel/Fax: 04-7173-6353

定期総会で会則改定

2月14日(土)10時から柏市民会館5階に於いて「名戸ヶ谷ビオトープを育てる会」定期総会が開かれ、会則改定が承認されましたが、その主な改定内容は以下の通りです。

- (1) 年会費として個人会員2000円、家族会員3000円、団体会員3000円と定めた
- (2) 役員に監査を新しく設けた
- (3) 会計年度を1月1日から12月末日までとした



平成16年度活動方針

1. ビオトープ内を整備し、多種多様な動植物が棲息する環境を整える。
2. 市民が自然に親しみ、自然保護に対する意識の向上をはかるため、自然観察会を開催する。
3. 生態系調査を行い、ビオトープ内の動植物の生態を把握するとともに、その変化を認識し、必要あれば対策をとる。
4. 上記の活動に対し、市に支援をお願いする。
5. 組織のNPO法人化を検討する。

「ミニ用語解説」: **ラムサール条約**とは、1971年、「湿地及び水鳥の保全のための国際会議」がイランのラムサールで開催され、水鳥の生息地として重要な湿地や動植物の保全を目的としています。日本国内では、北海道の釧路湿原や千葉県の大津干潟などが登録されています。

(環境保全課 中村)

水田稲作部会



みんなで一休み

3月27日(日)10時から水田稲作部会では4人の参加で「畦直し」作業を行いました。当日は不耕起部会の開墾作業と、木道補修作業も行われていました。秋までの作業を下記のように設定しました。(小笠原 智)

| 名戸ヶ谷ビオトープ水田稲作部会2004年作業予定 | | 2004.3.13 |
|---|------------|----------------|
| 水田稲作部会の作業予定日を設定しましたのでお知らせします。尚、作業予定日前に、連絡網で再度、お知らせします。(メールのある方にはメーリングリストにより連絡しますので、ご確認をお願いします。) | | |
| また、メール以外の方々への連絡網は、下段のようにしましたので、ご協力をお願いします。 | | |
| 2004年稲作部会作業予定 | | |
| 畦の修正(顔合わせ) | 3月27日(土曜日) | 予備日 3月28日(日曜日) |
| 代掻き | 5月 5日(祭日) | |
| 田植え | 5月 9日(日曜日) | 予備日 5月 8日(土曜日) |
| 植え直し | 5月22日(土曜日) | |
| 草取り1 | 6月12日(土曜日) | |
| 草取り2 | 6月26日(土曜日) | |
| 草取り3 | 7月17日(土曜日) | |
| 稲刈り | 9月12日(日曜日) | 予備日 9月11日(土曜日) |
| 脱穀 | 9月23日(祭日) | 予備日 9月26日(日曜日) |
| *作業日は基本的に土曜日としましたが、田植え、稲刈りは日曜日としています。また、作業時間は午前10時からとします。 | | |

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 2004年活動予定表(現時点判明のみ)

| 年月 | 全般 | 水田稲作 | 不耕起稲作 | 生きもの観察 | ホタル |
|-------|--|-------------------------------------|---------------------|--------------------------------------|-------------------|
| 04/02 | 14/ 第2回総会 | | ● 苗の予約 | | |
| 04/03 | ● 第14回幹事会 ● 育てる会だより第6号発行 | ● 部会説明会 ● もち苗の手配 ● 現地視察 | ● 畦の補修、田植え準備 | 20/ 植物観察会(毎月第3土曜日) | ● 幼虫放流 |
| 04/04 | ● 第15回幹事会 ● ニッカ工場展示 ● ザリガニ釣り | ● 畦作りと田起こし | ● 田植え準備、初ぬか散布 | 17/ 植物観察会 | ● 水路整備 |
| 04/05 | ● 第16回幹事会 ● 育てる会だより第7号発行 | ● 代かき ● 田植え(名戸ヶ谷小生徒含) ● 畦の草刈り | ● 田植え | ● 春の生態系調査* 15/ 植物観察会 | ● 遮光対策 |
| 04/06 | ● 第17回幹事会 ● ザリガニ釣り | ● 畦の草刈り ● 除草 | ● 草取り | 19/ 植物観察会 | ● 遮光対策 ● 観察会準備 |
| 04/07 | ● 第18回幹事会 ● 育てる会だより第8号発行 | ● 除草 ● 畦の草刈り | ● 防鳥ネット手配 | ● トンボや昆虫の観察会 17/ 植物観察会 | ● ホタル観察会 ● 採卵 |
| 04/08 | ● 第19回幹事会 ● ザリガニ釣り | ● 防鳥テープ張り** ● 畦の草刈り ● 水抜き | ● ネット張り** | 21/ 植物観察会 | ● 採卵と産卵床の整備 |
| 04/09 | ● 第20回幹事会 ● 育てる会だより第9号発行 | ● 稲刈り ● 脱穀(名戸小生徒含) | ● 稲刈り ● 脱穀 | ● 秋の生態系調査* (春の調査の補足) 18/ 植物観察会 | ● 幼虫飼育開始 |
| 04/10 | ● 第21回幹事会 ● ザリガニ釣り | ● 初すり ● 田起こし | ● わらの散布 ● 初すり、精米 | ● 魚や貝類の観察会 16/ 植物観察会 | |
| 04/11 | ● 第22回幹事会 ● ふれあいウォークに展示 ● 収穫祭 ● 育てる会だより第10号発行 | ● 米の配布 | ● 米の配布 | | ● 水路整備 |
| 04/12 | ● 第23回幹事会 | | ● 正月飾り作り | | |
| 05/01 | ● 第24回幹事会 ● 育てる会だより第11号発行 | | | | |
| 05/02 | ● 第25回幹事会 ● 第3回総会 | | | | |

*: 詳細日程は講師と調整 **: 費用/効果も考慮してテープ/ネットの選択は両部会で調整

ホタル部会

2月にホタル部会の活動を始めました。10人前後の人たちで、水路を掘ったり、池の泥をさらったりし、3月21日(日)には、同様の作業の後、三坂さんと私の育てておいたホタルの幼虫を探して、みんなで水路に放流しました。きっと夏にはあのホタルの幻想的な光が見られると思います。見学を含めてこの日は13人が参加し、みんなで水路に沿ってしだれ柳の植樹もしました。4月からの当面の予定をお知らせします。



4月: 遮光フェンスを張る

5月: D2側の遮光フェンスを張る。カワニナ飼育の勉強会。カワニナの調査。

6月: ホタルの調査

7月: 7/24~25日に「ホタル鑑賞会」

*尚、詳しい日程については後日お知らせします。

8月: ホタルの採卵、飼育

10~11月: 水路の整備

(松本 徳重)

不耕起稲作部会

3月に入り、当グループの活動を開始しました。昨年の実績を参考に今年は余裕をもって楽しい活動を第一にすすめたいと思います。

開墾： 3番水田の横の場所は昨年は葦が茂り水田に復活するには大変な場所です。3月7日(日) 14日(日) 27日(土)にスコップを武器に挑戦しました。葦の根は太くて硬く、スコップではなかなか切れません(写真右上)。しかし昨年の経験から、反動をつけ、全体重をかけ、何とか開墾しました。今後は葦の根をできるだけ除去し、稲の成長への影響を少なくする予定です。



苗を手配しました：

苗は昨年同様、不耕起用の苗を佐原市の藤崎さんに依頼しました。不耕起稲作の苗は低温で2ヶ月以上かけ、丈高く5葉と一般の機械植え(2.5~3葉)より丈夫な苗です。田植えは5月8(土)、9(日)を予定しています。(右予定表参照)

(才川 寿磨)

千葉県北総地域レッドデータブック掲載種

と 名戸ヶ谷ピオトープに棲息する種

| | 絶滅種 | 絶滅危惧種 | 名戸ヶ谷ピオトープで観察された種 |
|------|-----|-------|--------------------------|
| 昆虫類 | 7 | 137 | アゲハチョウ、アゲハ |
| 鳥類 | 13 | 85 | アマガシ、アマガシ、アマガシ、アマガシ、アマガシ |
| 哺乳類 | 2 | 8 | |
| 爬虫類 | | 11 | アマガシ |
| 両生類 | | 7 | アマガシ、アマガシ、アマガシ |
| 魚類 | | 15 | アマガシ、アマガシ |
| 貝類 | 3 | 39 | |
| 節足動物 | 2 | 13 | アマガシ、アマガシ |
| 植物 | 3 | 347 | アマガシ |
| | 30 | 662 | 15 |

(資料提供 篠崎将)

2004年作業予定

| 日 | 上中下 | 理 | 墾 | 田 | 種 | 備 | 注 |
|----|-----|---|---|---|---|---|--|
| 4 | 上中下 | | | 田 | 種 | 種 | ・種散布 ・田植え準備:水田内を平坦に、畦の手入れ ・特に畦の際に土を入れる |
| 5 | 上中下 | 水 | | 田 | 種 | 種 | ・田植え ・田植えは古株の横に植える ・田植えは祭りです、全員で ・家族の参加歓迎 ・メダカの放流を予定 |
| 6 | 上中下 | の | | | | | ・害虫の発生に注意 ・草取りは水田と畦 ・昨年はイネイヌソコムシが発生し木酸を750倍希釈して散布、1回のみ |
| 7 | 上中下 | ・ | | | | | ・水深は常に10cmを保つ ・ネットの手配 ・昨年はスズメ対策は失敗 |
| 8 | 上中下 | り | | | | | ・スズメ対策はネットを予定 ・家の近くの水田はネットでスズメ対策が多い |
| 9 | 上中下 | | | | | | ・福刈り ・祝祭 ・福刈りはお祭りです、全員で ・家族の参加歓迎 |
| 10 | 上中下 | 水 | | | | | ・稲刈り ・精米 ・藁の散布 ・不耕起米と他のコメとの混ざりに注意 ・昨年は精米から精米混ざりナシでした |
| 11 | 上中下 | 管 | | | | | ・コメの配布 ・名戸ヶ谷小学校の収穫祭が昨年はありません ・名戸ヶ谷小学校へもコメ配布予定 ・収穫祭は餅つきもあり |
| 12 | 上中下 | | | | | | ・種散布 ・正月飾り作り ・正月飾りは良いお土産 |

市民講座で名戸ヶ谷ピオトープを紹介

「水からのメッセージ」というテーマで、永楽台近隣センターに於いて2月5日から5回に亘って市民講座が開催されました。初日に「動植物と共存する水田をとりもどそう」という題目で、ピオトープの植物、生きもの、不耕起栽培を、パソコンを使い、プロジェクターで紹介しました。



名戸ヶ谷ピオトープを紹介する篠崎会長



花だより

佐々木光正



タガラシ

ビオトープの斜面では人里の花が賑わっています。オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、ハルジオン、セイヨウタンポポなどです。湿地では真っ先に白色のタネツケバナが咲きました。続いて黄色のタガラシ、ケキツネノボタンが咲き、連休が近づくと、オランダガラシ、ヒメヘビイチゴが見られます。毎月第三土曜日(10時から)は植物観察会です。

一緒に見ませんか。

植物観察会(毎第3土曜、10時から)でお待ちしています。



タネツケバナ

生きもの部会のみなさんへ

毎月第三土曜日(10時から12時)を生きもの部会の例会とします。場所はビオトープの東屋(あずまや)です。例会では次のことを行います。

植物観察会(3月から10月。動物についても少し目を向けましょう)

ビオトープの清掃

会員相互の連絡、ビオトープについての意見交換

藪崎正治さん(69歳) 談 (自宅にて)

名戸ヶ谷の昔



今から30年程昔になるかな。ここへ越してきた頃は、今の名戸ヶ谷病院の辺りも田圃で、ドジョウやオタマジャクシがいっぱいいましたよ。そこで少し田圃の手伝いをしていたけれど、台風がくると、この辺りは沼のようになってね。昔の堀はカーブしている辺りでは水深は腰までであったからね。堰が上流から流れてきた石鹸水の大きな泡の塊で真っ白になった頃のことよく覚えているね。木村トメさんや鈴木さんの話にもあったけれど。

昔は鉄砲もしていましたよ。その頃は、名戸ヶ谷から今の新柏駅や増尾方面にかけて一面の深い森だったからね。当時の狩猟メンバーはまだ2-3人名戸ヶ谷に残っていますよ。何を撃ったかって? コジウケイ。それに鳩ぐらいのものかな。鉄砲をもって出かけると、近所の子どもたちがよく後についてきたものです。昔はまだ砂利道で、カスミアミでスズメもよく捕ったね。名戸ヶ谷病院ができたのは、それから10数年後かね。地主が土地を病院用地に売っちゃったのでわたしも田圃を止めたわけ。土地を借りて耕作していたものだからね。今のD2の辺りは昔、地主の藪崎さんが田圃を自力で埋め立てて梅林にしていたものをD2に貸したものです。

ホタルといえば、昔はいっぱいいたね。今のビオトープの場所に木道ができた頃にも、湧水の取水口の板の下でもピカピカいっぱい光っていたし、田圃の縁にもいっぱいいて、ホタルの群れを団扇でさあーっと扇いだものです。それで市主催の夏の「ホタル見学会」というのが暫く続いたわけです。ばたっと姿を消すのは東武バスの駐車場ができた頃からかね。去年、家の裏の小川(堀)にホタルの餌になるカワニナやホタルの幼虫が少し見つかったと聞いたけれど、今年は雨が降らないから、枯れたかもしれないね。(聞き書き 広報編集部)

編集後記

春の訪れとともにビオトープに再び季節の草花や生きものが戻ってきました。それに合わせて各部会も活発に活動を開始しました。総会を終えて新たなスタートに立ったビオトープ。みんなで発展させましょう。高田幹事の努力で**ホームページ**が開設されました。是非ご覧ください。広報編集部 (春山)

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会ホームページ: <http://homepage3.nifty.com/biotope/>